

**平成30年度**

**志木市下水道事業会計予算**

## 平成30年度志木市下水道事業会計予算

(総則)

第1条 平成30年度志木市下水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1)	水洗化戸数	33,717 戸
(2)	年間有収水量	7,135,000 m <sup>3</sup>
(3)	一日平均有収水量	19,548 m <sup>3</sup>
(4)	主要な建設改良事業	
	第30-1工区(雨水)下水道工事	15,278 千円
	第30-2工区(雨水)下水道工事	19,436 千円
	志木中継ポンプ場耐震工事設計	50,328 千円
	館第一排水ポンプ場第1期耐震工事	131,004 千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

		収 入	(税込)
第1款	下水道事業収益	2,058,305 千円	
第1項	営業収益	1,256,760 千円	
第2項	営業外収益	724,225 千円	
第3項	特別利益	77,320 千円	
		支 出	(税込)
第2款	下水道事業費用	1,980,987 千円	
第1項	営業費用	1,771,307 千円	
第2項	営業外費用	189,678 千円	
第3項	特別損失	2 千円	
第4項	予備費	20,000 千円	

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 380,787千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 22,116千円、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金 358,671千円で補填するものとする。)

		収 入	(税込)
第3款	資本的収入	536,013 千円	
第1項	企業債	166,100 千円	
第2項	他会計負担金	62,051 千円	
第3項	負担金	47,821 千円	
第4項	他会計補助金	200,257 千円	
第5項	補助金	57,000 千円	
第7項	貸付金償還金	2,500 千円	
第8項	諸収入	284 千円	
		支 出	(税込)
第4款	資本的支出	916,800 千円	
第1項	建設改良費	298,118 千円	
第2項	積立金	284 千円	
第3項	貸付金	2,500 千円	
第4項	固定資産購入費	6,497 千円	
第5項	企業債償還金	609,401 千円	

( 債務負担行為 )

第 5 条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限 度 額
志木市水洗便所改造 資金融資あっせん制 度による金融機関に 対して行う損失補償	平成 30 年度 から 完 済 の 日 まで	志木市と金融機関で協議のうえ貸付を行った 貸付金及びこれに伴う利子

( 企業債 )

第 6 条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。(単位:千円)

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
公共下水道事業	129,100	普通貸借又は証券発行	4.0 % 以 内	借入先の融資条件による。ただし、財 政の都合により据置期間及び償還期限 を短縮し、もしくは繰上償還又は低利に 借換えることができる。
荒川右岸 流域下水道事業	37,000			

( 一時借入金 )

第 7 条 一時借入金の限度額は、300,000千円と定める。

( 予定支出の各項の経費の金額の流用 )

第 8 条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

- ( 1 ) 営業費用及び営業外費用の間の流用
  - ( 2 ) 建設改良費及び企業債償還金の間の流用
- ( 議会の議決を経なければ流用することのできない経費 )

第 9 条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又は  
それ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

- ( 1 ) 職員給与費 100,406 千円

( 他会計からの補助金 )

第 10 条 下水道事業に充てるため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、  
200,257 千円である。

平成 30 年 2 月 20 日 提出

志 木 市 長 香 川 武 文

平成30年度

志木市下水道事業会計予算  
に関する説明書

平成30年度志木市下水道事業会計予算実施計画

収益的収入及び支出

収入

(単位:千円 税込)

款	項	目	節	予	定	額	備	考											
1	下	水	道	事	業	収	益	2,058,305											
1	営	業	収	益		1,256,760													
	1	下	水	道	使	用	料	867,476											
		1	下	水	道	使	用	料	867,476	有収水量7,135,000 m <sup>3</sup>									
	2	雨	水	処	理	負	担	金	306,301										
		1	雨	水	処	理	負	担	金	306,301									
	3	受	託	事	業	収	益	82,432											
		1	西	部	10	号	幹	線	維	持	管	理	負	担	金	3,000	朝霞市		
		2	館	第	一	排	水	ポ	ン	プ	場	受	託	事	業	収	入	79,432	新座市
	4	そ	の	他	営	業	収	益	551										
		1	手	数	料			295		指定下水道工事店指定等事務									
		2	使	用	料			254		駐車場 他									
		3	雑	収	益			2											
2	営	業	外	収	益			724,225											
	1	受	取	利	息	及	び	配	当	金	386								
		1	預	金	利	息		113											
		2	基	金	利	息		273		館第一排水ポンプ場管理基金									
	3	補	助	金				6,000											
		1	国	庫	補	助	金	6,000		社会資本整備総合交付金									
	4	他	会	計	負	担	金	131,391											
		1	他	会	計	負	担	金	131,391	汚水処理費 他									
	5	長	期	前	受	金	戻	入	586,445										
		2	国	庫	補	助	金	129,953											
		3	県	補	助	金		116											
		4	他	会	計	繰	入	金	330,869										
		5	受	贈	財	産	評	価	額	56,722									
		7	受	益	者	負	担	金	22,690										
		9	事	業	負	担	金	18,517											
		10	受	託	事	業	収	入	27,578										
	7	雑	収	益				3											
		1	延	滞	金			1											
		2	そ	の	他	雑	収	益	2										
3	特	別	利	益				77,320											
	2	過	年	度	損	益	修	正	益	2									
		1	過	年	度	損	益	修	正	益	2								
	4	そ	の	他	特	別	利	益	77,318										
		1	そ	の	他	特	別	利	益	77,318	富士見市公共下水道の汚水流入に係る負担金								

## 支 出

(単位:千円 税込)

款 項 目	節	予 定 額	備 考
2	下水道事業費用	1,980,987	
1	営業費用	1,771,307	
1	汚水管渠費	116,962	
	7 旅 費	11	普通旅費
	10 被 服 費	152	職員作業着 他
	11 備 消 品 費	135	事務用備消品 他
	13 光 熱 水 費	7	水道料金
	18 委 託 料	93,741	管渠耐震診断 他
	20 賃 借 料	775	下水道台帳検索システム用機器、土地 他
	21 修 繕 費	22,062	管渠、人孔蓋、舗装 他
	32 会 費 負 担 金	5	荒川右岸流域下水道維持管理連絡協議会
	33 保 險 料	74	下水道賠償責任保険 他
2	雨水管渠費	43,190	
	7 旅 費	10	普通旅費
	9 報 償 費	360	水路クリーンサポート報奨金
	11 備 消 品 費	246	事務用備消品 他
	13 光 熱 水 費	7	水道料金
	18 委 託 料	29,434	管渠清掃 他
	20 賃 借 料	465	下水道台帳検索システム用機器、土地 他
	21 修 繕 費	12,420	人孔蓋、舗装、フェンス 他
	29 負 担 金	191	別所雨水幹線維持管理(富士見市)
	33 保 險 料	57	下水道賠償責任保険
3	汚水ポンプ場費	82,124	
	11 備 消 品 費	216	事務用備消品 他
	13 光 熱 水 費	182	水道料金
	15 通 信 運 搬 費	91	電話料金
	18 委 託 料	73,483	志木中継ポンプ場運転・維持管理 他
	21 修 繕 費	1,620	志木中継ポンプ場
	25 動 力 費	6,085	電気料金 他
	29 負 担 金	396	柳瀬10-1汚水ポンプ場(富士見市)
	33 保 險 料	51	建物総合損害共済 他

(単位:千円 税込)

款	項	目	節	予 定 額	備 考
			4 雨水ポンプ場費	21,416	
			11 備 消 品 費	54	事務用備用品 他
			18 委 託 料	20,071	館第二排水ポンプ場運転・維持管理 他
			21 修 繕 費	540	館第二排水ポンプ場
			25 動 力 費	359	電気料金 他
			29 負 担 金	362	別所雨水ポンプ場維持管理(富士見市)
			33 保 険 料	30	建物総合損害共済 他
		5	館 第 一 排 水 場 水 費	149,492	
			1 給 料	4,751	職員1人
			2 手 当	3,723	扶養手当 558 管理職手当 480 地域手当 843 住居手当 324 通勤手当 24 期末・勤勉手当 1,494
			3 賞与引当金繰入額	895	期末・勤勉手当分 747 共済組合負担金分 148
			6 法 定 福 利 費	2,487	共済組合等負担金 2,471 地方公務員災害補償基金負担金 16
			7 旅 費	11	普通旅費
			11 備 消 品 費	130	事務用備用品 他
			13 光 熱 水 費	634	水道料金 他
			15 通 信 運 搬 費	169	電話料金
			18 委 託 料	124,339	運転・維持管理 他
			21 修 繕 費	4,320	施設
			25 動 力 費	7,919	電気料金 他
			33 保 険 料	114	建物総合損害共済 他
		7	普 及 促 進 費	339	
			7 旅 費	18	普通旅費
			11 備 消 品 費	136	事務用備用品 他

(単位:千円 税込)

款	項	目	節	予	定	額	備	考
			20 賃借料			168	車両	
			33 保険料			17	自動車損害共済	
		8	総係費			173,742		
			1 給料			37,701	職員8人	
			2 手当			25,540	扶養手当 管理職手当 地域手当 時間外勤務手当 通勤手当 期末・勤勉手当	1,632 2,004 6,000 3,300 1,501 11,103
			3 賞与引当金繰入額			6,652	期末・勤勉手当分 共済組合負担金分	5,551 1,101
			6 法定福利費			18,657	共済組合等負担金 地方公務員災害補償基金負担金	18,538 119
			7 旅費			50	普通旅費	
			9 報償費			2	受益者負担金前納報奨金	
			10 被服費			38	職員作業着 他	
			11 備用品費			187	事務用備用品 他	
			12 燃料費			180	車両燃料	
			14 印刷製本費			40	帳票	
			18 委託料			46,523	下水道使用料調定 他	
			19 使用料及び手数料			4,087	水道庁舎 他	
			20 賃借料			1,905	企業会計システム 他	
			21 修繕費			50		
			31 研修費			100		
			32 会費負担金			208	日本下水道協会 他	
			33 保険料			15	自動車損害共済	
			34 貸倒引当金繰入額			1,221		
			40 施設負担金			30,586	水道庁舎	



(単位:千円 税込)

款	項	目	節	予 定 額	備 考
		9	流域下水道 維持管 理 道 費	315,000	
			29 負 担 金	315,000	荒川右岸流域下水道維持管理
		10	減 価 償 却 費	869,041	
			1 有 形 固 定 資 産 減 価 償 却 費	811,650	建物、構築物、機械及び装置
			2 無 形 固 定 資 産 減 価 償 却 費	57,391	施設利用権
		11	資 産 減 耗 費	1	
			1 固 定 資 産 除 却 費	1	
	2		営 業 外 費 用	189,678	
		1	支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	132,394	
			1 企 業 債 利 息	131,407	公共下水道事業債、荒川右岸流域下水道事業債
			2 一 時 借 入 金 利 息	987	
		2	消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	55,000	
			1 支 払 消 費 税	55,000	平成30年度分
		3	雑 支 出	2,284	
			2 そ の 他 雑 支 出	2,284	館第一排水ポンプ場管理基金への積立 他
	3		特 別 損 失	2	
		1	特 別 損 失	2	
			5 過 年 度 損 益 修 正 損	2	
	4		予 備 費	20,000	
		1	予 備 費	20,000	
			1 予 備 費	20,000	

資本的収入及び支出

収入

(単位:千円 税込)

款	項	目	節	予	定	額	備	考													
3	資	本	的	収	入	536,013															
	1	企	業	債		166,100															
		1	企	業	債	166,100															
			1	企	業	債	166,100	公共下水道事業債、荒川右岸流域下水道事業債													
	2	他	会	計	負	担	金	62,051													
		1	他	会	計	負	担	金	62,051												
			1	他	会	計	負	担	金	62,051	汚水施設整備										
	3	負	担	金		47,821															
		1	受	益	者	負	担	金	7												
			1	受	益	者	負	担	金	7											
		2	工	事	負	担	金	47,814													
			1	工	事	負	担	金	47,814	館第一排水ポンプ場耐震工事 他(新座市)											
	4	他	会	計	補	助	金	200,257													
		1	他	会	計	補	助	金	200,257												
			1	他	会	計	補	助	金	200,257	企業債償還 他										
	5	補	助	金		57,000															
		1	補	助	金	57,000															
			1	国	庫	補	助	金	57,000	志木中継ポンプ場、館第一排水ポンプ場耐震工事 他											
	7	貸	付	金	償	還	金	2,500													
		1	水	洗	便	所	改	造	資	金	融	資	預	託	金	元	金	収	入	2,500	
			1	水	洗	便	所	改	造	資	金	融	資	預	託	金	元	金	収	入	2,500
	8	諸	収	入		284															
		1	諸	収	入	284															
			1	諸	収	入	284	館第一排水ポンプ場剰余金													

## 支 出

(単位:千円 税込)

款 項 目	節	予 定 額	備 考
4	資 本 的 支 出	916,800	
1	建 設 改 良 費	298,118	
2	汚 水 管 渠 整 備 費	22,529	
1	委 託 料	3,024	設計・測量
2	工 事 請 負 費	19,505	建築確認申請箇所工事 他
3	雨 水 管 渠 整 備 費	46,283	
1	委 託 料	11,569	工事実施設計・測量
2	工 事 請 負 費	34,714	第30-1工区 他
4	汚 水 ポンプ 場 整 備 費	50,328	
1	委 託 料	50,328	志木中継ポンプ場耐震工事設計
5	雨 水 ポンプ 場 整 備 費	4,458	
5	負 担 金	4,458	別所雨水ポンプ場(富士見市)
6	館 第 一 排 水 ポンプ 場 整 備 費	137,484	
1	委 託 料	1,080	耐震工事設計
2	工 事 請 負 費	136,404	耐震工事 他
7	流 域 下 水 道 整 備 費	37,036	
1	負 担 金	37,036	荒川右岸流域下水道建設費
2	積 立 金	284	
1	積 立 金	284	
1	積 立 金	284	館第一排水ポンプ場管理基金
3	貸 付 金	2,500	
2	預 託 金	2,500	
1	預 託 金	2,500	水洗便所改造資金融資預託金
4	固 定 資 産 購 入 費	6,497	
1	有 形 固 定 資 産 購 入 費	6,497	
1	有 形 固 定 資 産 購 入 費	6,000	事業用地
2	委 託 料	497	分筆図作成 他
5	企 業 債 償 還 金	609,401	
1	企 業 債 償 還 金	609,401	
1	企 業 債 償 還 金	609,401	公共下水道事業債、荒川右岸流域下水道事業債

# 平成30年度志木市下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書(間接法)

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:千円)

## 1 業務活動による予定キャッシュ・フロー

当年度純利益	106,458
減価償却費	869,041
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 240
長期前受金戻入額	△ 586,445
受取利息及び受取配当金	△ 386
支払利息	132,394
貸倒引当金の増減額(△は減少)	634
未払金の増減額(△は減少)	△ 38,661
小計	482,795
利息及び配当金の受取額	386
利息の支払額	△ 132,394
業務活動によるキャッシュ・フロー	350,787

## 2 投資活動による予定キャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△ 263,121
無形固定資産の取得による支出	△ 41,494
館第一排水ポンプ場管理基金積立による支出	△ 284
受益者負担金、工事負担金、補助金の収入	104,821
他会計からの繰入金による収入	33,694
館第一排水ポンプ場剰余金の収入	284
水洗便所改造資金の預託による支出	△ 2,500
水洗便所改造資金預託金の償還による収入	2,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 166,100

## 3 財務活動による予定キャッシュ・フロー

建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	166,100
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 609,401
他会計からの繰入金による収入	228,614
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 214,687

資金増加額(又は減少額)	△ 30,000
資金期首残高	680,000
資金期末残高	650,000

# 給 与 費 明 細 書

## 1 総 括

(単位:千円)

区 分	職 員 数 ( 人 )		給 与 費					法定福利費	合 計	
	特別職	一般職	報 酬	給 料	賃 金	手 当	計			
本 年 度	損益勘定支弁職員	0	9	0	42,452	0	35,561	78,013	22,393	100,406
	資本勘定支弁職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	9	0	42,452	0	35,561	78,013	22,393	100,406
前 年 度	損益勘定支弁職員	0	9	0	43,066	0	37,087	80,153	25,317	105,470
	資本勘定支弁職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	9	0	43,066	0	37,087	80,153	25,317	105,470
比 較	損益勘定支弁職員	0	0	0	△ 614	0	△ 1,526	△ 2,140	△ 2,924	△ 5,064
	資本勘定支弁職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	0	0	△ 614	0	△ 1,526	△ 2,140	△ 2,924	△ 5,064

(単位:千円)

手 当 の 内 訳	区 分	扶 養 手 当	管 理 職 手 当	地 域 手 当	住 居 手 当	時 間 外 勤 務 手 当	特 殊 勤 務 手 当	通 勤 手 当	期 末 手 当 勤 勉 手 当
	本 年 度	2,190	2,484	6,843	324	3,300	0	1,525	18,895
	前 年 度	3,120	2,004	7,236	648	3,300	0	1,180	19,599
	比 較	△ 930	480	△ 393	△ 324	0	0	345	△ 704

## 2 給料及び手当の増減額の明細

(単位:千円)

区 分	増 減 額	増 減 事 由 別 内 訳	説 明	備 考
給 料	△ 614	給与改定に伴う増減分 昇給に伴う増減分 その他の増減分	△ 614 給与改定率 平均0.2% 人事異動等	平成29年4月1日 適用
手 当	△ 1,526	制度改正に伴う増減分 その他の増減分	△ 1,526 期末・勤勉手当の改正 支給月数 4.30月→4.40月 扶養手当の改正 配偶者10,000円→6,500円 子8,000円→10,000円 人事異動等	平成29年12月 1日適用 平成30年度以降 の改正

## 3 給料及び手当の状況

### (1) 職員1人当たりの給与

区 分	事務・技術職	
平成30年1月1日現在	平均給料月額 (円)	329,347
	平均給与月額 (円)	473,484
	平均年齢 (歳)	48.00
平成29年1月1日現在	平均給料月額 (円)	341,570
	平均給与月額 (円)	469,692
	平均年齢 (歳)	47.50

### (2) 初 任 給

平成30年1月1日現在

区 分	事務・技術職(円)	一般会計の制度
		一般行政職(円)
高 校 卒	151,500	151,500
大 学 卒	185,800	185,800

(3) 級別職員数

区 分	事 務 ・ 技 術 職		
	級	職員数(人)	構成比(%)
平成30年1月1日現在	1	0	0.0
	2	2	22.2
	3	1	11.1
	4	2	22.2
	5	3	33.4
	6	1	11.1
	7	0	0.0
	8	0	0.0
	計	9	100.0
平成29年1月1日現在	1	0	0.0
	2	2	22.3
	3	0	0.0
	4	3	33.3
	5	3	33.3
	6	1	11.1
	7	0	0.0
	8	0	0.0
	計	9	100.0

(4) 昇 給

区 分	合計	事務・技術職	その他	
本年度	職員数 (A) (人)	9	0	
	昇給に係る職員数 (B) (人)	8	0	
	号給数別内訳	2号給 (人)	2	0
		4号給 (人)	6	0
		6号給 (人)	0	0
		8号給 (人)	0	0
	比率 (B) / (A) (%)	88.9	0	
前年度	職員数 (A) (人)	9	0	
	昇給に係る職員数 (B) (人)	7	0	
	号給数別内訳	2号給 (人)	1	0
		4号給 (人)	6	0
		6号給 (人)	0	0
		8号給 (人)	0	0
	比率 (B) / (A) (%)	77.8	0	

(級別の標準的な職務内容)

区 分	事 務 ・ 技 術 職
1 級	主事補又は技師補の職務
2 級	主事又は技師の職務
3 級	主任の職務
4 級	主査の職務
5 級	主幹の職務
6 級	課長の職務
7 級	次長又は参事の職務
8 級	部長の職務

(5) 期末手当・勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支 給 率 計 ( 月 分 )	職制上の段階、職務の 級等による加算措置	備 考
	6 月 ( 月 分 )	1 2 月 ( 月 分 )			
本 年 度	2.125 (1.075)	2.275 (1.225)	4.40 (2.3)	有	( )内は再任用職員
前 年 度	2.075 (1.050)	2.225 (1.20)	4.30 (2.25)	有	
一般会計の制度	2.125 (1.075)	2.275 (1.225)	4.40 (2.3)	有	

(6) その他の手当

区 分	一般会計の制度との異同	差 異 の 内 容
扶 養 手 当	同	
地 域 手 当	同	
住 居 手 当	同	
通 勤 手 当	同	

## 企業債償還計画表

(単位:千円)

年度 \ 区分	元金	利子	合計	未償還額
平成 30 年度	609,401	131,407	740,808	4,632,842
平成 31 年度	562,140	114,415	676,555	4,070,702
平成 32 年度	501,028	95,116	596,144	3,569,674
平成 33 年度	463,974	78,971	542,945	3,105,700
平成 34 年度	413,223	65,667	478,890	2,692,477



# 平成30年度志木市下水道事業予定貸借対照表

(平成31年3月31日)

(単位:千円 税抜)

## 資 産 の 部

### 1 固定資産

#### (1) 有形固定資産

イ 土地		327,984	
ロ 建物	303,769		
減価償却累計額	<u>△ 31,607</u>	272,162	
ハ 構築物	18,553,129		
減価償却累計額	<u>△ 3,263,218</u>	15,289,911	
ニ 機械及び装置	2,112,360		
減価償却累計額	<u>△ 792,336</u>	<u>1,320,024</u>	
有形固定資産合計			17,210,081

#### (2) 無形固定資産

イ 施設利用権		<u>820,729</u>	
無形固定資産合計			820,729

#### (3) 投資

イ 埼玉県下水道公社出捐金		555	
ロ 館第一排水ポンプ場管理基金		<u>250,744</u>	
投資合計			<u>251,299</u>

固定資産合計 18,282,109

### 2 流動資産

(1) 現金預金		650,000	
(2) 未収金	73,000		
貸倒引当金	<u>△ 7,283</u>	65,717	
(3) 保管有価証券		<u>100</u>	
流動資産合計			<u>715,817</u>
資産合計			<u><u>18,997,926</u></u>

## 負債の部

## 3 固定負債

## (1) 企業債

イ 建設改良等の財源に充てるための企業債

(下水道事業)

3,689,679

(館第一排水ポンプ場事業)

381,023

企業債合計

4,070,702

固定負債合計

4,070,702

## 4 流動負債

## (1) 企業債

イ 建設改良等の財源に充てるための企業債

(下水道事業)

545,095

(館第一排水ポンプ場事業)

17,045

企業債合計

562,140

## (2) 未払金

94,295

## (3) 引当金

イ 賞与引当金

7,547

7,547

## (4) 預り金

700

## (5) 預り有価証券

100

流動負債合計

664,782

## 5 繰延収益

## (1) 長期前受金

イ 国庫補助金

2,662,464

ロ 県補助金

2,393

ハ 他会計繰入金

8,396,682

ニ 受贈財産評価額

1,813,725

ホ 受益者負担金

658,921

ヘ 事業負担金

316,266

ト 受託事業収入

363,102

14,213,553

## (2) 収益化累計額

イ 国庫補助金

△ 667,921

ロ 県補助金

△ 580

ハ 他会計繰入金

△ 1,632,210

ニ 受贈財産評価額

△ 279,361

ホ 受益者負担金

△ 112,792

ヘ 事業負担金

△ 93,860

ト 受託事業収入

△ 143,453△ 2,930,177

繰延収益合計

11,283,376

負債合計

16,018,860

(単位:千円 税抜)

## 資 本 の 部

### 6 資 本 金

(1) 自己資本金

イ 固有資本金

1,813,302

資本金合計

1,813,302

### 7 剰 余 金

(1) 資本剰余金

イ 国庫補助金

114,630

ロ 他会計繰入金

18,744

ハ 受贈財産評価額

74,346

ニ 受託事業収入

25,704

ホ 事業負担金

51,279

ヘ その他資本剰余金

250,744

資本剰余金合計

535,447

(2) 利益剰余金

イ 当年度未処分利益剰余金

630,317

利益剰余金合計

630,317

剰余金合計

1,165,764

資本合計

2,979,066

負債資本合計

18,997,926

# 平成29年度志木市下水道事業予定損益計算書(前年度分)

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位:千円 税抜)

## 1 営業収益

(1) 下水道使用料	817,975		
(2) 雨水処理負担金	282,099		
(3) 受託事業収益	78,659		
(4) その他営業収益	672	1,179,405	

## 2 営業費用

(1) 汚水管渠費	84,992		
(2) 雨水管渠費	23,698		
(3) 汚水ポンプ場費	64,271		
(4) 雨水ポンプ場費	4,789		
(5) 館第一排水ポンプ場費	135,291		
(6) 総係費	144,448		
(7) 流域下水道維持管理費	267,456		
(8) 減価償却費	871,189		
(9) 資産減耗費	1	1,596,135	

営業損失 416,730

## 3 営業外収益

(1) 受取利息及び配当金	749		
(2) 他会計補助金	48,191		
(3) 他会計負担金	132,537		
(4) 長期前受金戻入	575,059		
(5) 雑収益	35	756,571	

## 4 営業外費用

(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	151,545		
(2) 雑支出	245	151,790	604,781
経常利益			188,051

## 5 特別利益

(1) 特別利益	2	2	
----------	---	---	--

## 6 特別損失

(1) 特別損失	17,908	17,908	
----------	--------	--------	--

## 7 予備費

(1) 予備費	18,518	18,518	△ 36,424
当年度純利益			151,627
前年度繰越利益剰余金			372,232
当年度未処分利益剰余金			523,859

# 平成29年度志木市下水道事業予定貸借対照表(前年度分)

(平成30年3月31日)

(単位:千円 税抜)

## 資 産 の 部

### 1 固定資産

#### (1) 有形固定資産

イ 土地		321,523	
ロ 建物	134,869		
減価償却累計額	<u>△ 26,176</u>	108,693	
ハ 構築物	18,489,415		
減価償却累計額	<u>△ 2,609,812</u>	15,879,603	
ニ 機械及び装置	2,107,360		
減価償却累計額	<u>△ 639,523</u>	<u>1,467,837</u>	
有形固定資産合計			17,777,656

#### (2) 無形固定資産

イ 施設利用権		<u>839,698</u>	
無形固定資産合計			839,698

#### (3) 投資

イ 埼玉県下水道公社出捐金		555	
ロ 館第一排水ポンプ場管理基金		<u>250,460</u>	
投資合計			<u>251,015</u>

固定資産合計 18,868,369

### 2 流動資産

(1) 現金預金		680,000	
(2) 未収金	73,000		
貸倒引当金	<u>△ 6,649</u>	66,351	
(3) 保管有価証券		<u>100</u>	
流動資産合計			<u>746,451</u>
資産合計			<u>19,614,820</u>

## 負債の部

## 3 固定負債

## (1) 企業債

イ 建設改良等の財源に充てるための企業債

(下水道事業) 4,113,273

(館第一排水ポンプ場事業) 353,469企業債合計 4,466,742

固定負債合計 4,466,742

## 4 流動負債

## (1) 企業債

イ 建設改良等の財源に充てるための企業債

(下水道事業) 592,708

(館第一排水ポンプ場事業) 16,691

企業債合計 609,399

(2) 未払金 94,295

## (3) 引当金

イ 賞与引当金 7,787 7,787

(4) 預り金 700

(5) 預り有価証券 100

流動負債合計 712,281

## 5 繰延収益

## (1) 長期前受金

イ 国庫補助金 2,609,687

ロ 県補助金 2,393

ハ 他会計繰入金 8,193,850

ニ 受贈財産評価額 1,813,725

ホ 受益者負担金 658,913

ヘ 事業負担金 271,994

ト 受託事業収入 363,102 13,913,664

## (2) 収益化累計額

イ 国庫補助金  $\Delta$  537,968ロ 県補助金  $\Delta$  464ハ 他会計繰入金  $\Delta$  1,301,341ニ 受贈財産評価額  $\Delta$  222,639ホ 受益者負担金  $\Delta$  90,101ヘ 事業負担金  $\Delta$  75,344ト 受託事業収入  $\Delta$  115,874  $\Delta$  2,343,731繰延収益合計 11,569,933負債合計 16,748,956

(単位:千円 税抜)

## 資 本 の 部

### 6 資 本 金

(1) 自己資本金

イ 固有資本金

1,813,302

資本金合計

1,813,302

### 7 剰 余 金

(1) 資本剰余金

イ 国庫補助金

114,630

ロ 他会計繰入金

12,283

ハ 受贈財産評価額

74,346

ニ 受託事業収入

25,704

ホ 事業負担金

51,280

ヘ その他資本剰余金

250,460

資本剰余金合計

528,703

(2) 利益剰余金

イ 当年度未処分利益剰余金

523,859

利益剰余金合計

523,859

剰余金合計

1,052,562

資本合計

2,865,864

負債資本合計

19,614,820

# 志木市下水道事業予算に係る注記事項

## I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 1 固定資産の減価償却の方法

資産取得時から地方公営企業法適用の前日まで減価償却が行われてきたものとみなし、取得価額から減価償却累計額相当額を控除して算定している。

	有形固定資産	無形固定資産
減価償却の方法	定額法による	定額法による
主な耐用年数	建物 15～50年 構築物 50年 機械及び装置 10～20年	施設利用権 35年

### 2 引当金の計上方法

#### (1) 退職給付引当金

退職給付金が不足になった場合に生じる埼玉県市町村総合事務組合の特別負担金は、「職員の退職手当に係る協定書」に基づき、一般会計が、その全部を負担することになっているため、退職手当引当金は計上していない。

#### (2) 賞与引当金

職員の期末・勤勉手当の支給及び職員の期末・勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度負担に属する額を計上している。

#### (3) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

### 3 その他会計に関する書類の作成のための基本となる重要な事項

#### (1) 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式で行っている。なお、控除対象外消費税額は、当事業年度の費用として処理し、特定収入仮払消費税額については、長期前受金と相殺している。

#### (2) 予算科目の表示

予算科目の番号は、公営企業会計システムと連動した表示としている。

#### (3) 表示方法に関する注記

志木市下水道事業特別会計と志木市館第一排水ポンプ場特別会計を統合し、志木市下水道事業会計とした。

## II 予定貸借対照表等に関する注記

### 1 予定貸借対照表に関する注記

(1) 固定負債(企業債)は、償還期限が1年以降に到来するもので、流動負債(企業債)は、償還期限が1年以内のものとして処理をしている。

(2) 繰延収益(長期前受金)は、償却資産の取得に伴う資本剰余金(補助金等)を計上している。

なお、資産と同様に減価償却に見合う金額を収益化累計額として計上している。

(3) 引当金として、賞与引当金及び貸倒引当金を計上している。

(4) 貸借対照表上で△は、差引する勘定として表記をしている。

### 2 予定損益計算書に関する注記

長期前受金戻入は、減価償却に伴い「長期前受金」を収益化している。

## III セグメント情報に関する注記

### 報告セグメントの概要

志木市下水道事業会計は、公共下水道事業として運営を決定していることから、公共下水道事業を1つの報告セグメントとしている。

## IV 予定キャッシュ・フロー計算書に関する注記

予定キャッシュ・フロー計算書は、間接法で作成している。



**V その他の注記**

引当金の目的使用による取り崩し

	平成30年度 自 平成30年4月 1日 至 平成31年3月31日	平成29年度 自 平成29年4月 1日 至 平成30年3月31日
貸倒引当金の 目的使用予定額	587 千円	759 千円
賞与引当金の 目的使用予定額	7,787 千円	8,207 千円